

研究課題名	我が国における1型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究
研究実施者	日本糖尿病学会 委員長 島田 朗 (埼玉医科大学 教授)
研究期間	2019年 4月 ~ 2024年 3月
対象者	2019年11月から2019年12月の間に、広島大学病院内分泌・糖尿病内科で治療を受けた1型糖尿病の患者。
意義・目的	我が国における1型糖尿病の診療実態を明らかにすることで、診療の質の向上に役立てます。
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は以下の通りです。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p> <p>年齢、性別、BMI、1型糖尿病の病型(劇症、急性発症、緩徐進行)、免疫チェックポイント阻害薬投与歴、発症年齢(緩徐進行は診断時年齢)、発症(もしくは診断)年、インスリン治療期間、発症(もしくは診断時)のHbA1c、現在のHbA1c、膵島関連自己抗体(GAD抗体、IA-2抗体(緩徐進行については、進行予知、病勢評価目的))、内因性インスリン分泌能(Cペプチド)、ケトosisの有無、ケトアシドーシスの有無、重症・無自覚性低血糖の有無、自己免疫性甲状腺疾患の有無(バセドウ病、橋本病など)、血管合併症の有無(網膜症、腎症、神経障害、大血管症、足病変など)、悪性腫瘍合併の有無、家族歴(1型糖尿病、2型糖尿病、その他の糖尿病の有無)</p> <p>治療内容:インスリン(MDI、CSII)、以下の薬剤の有無 SGLT2阻害薬、ビッグアニド薬、DPP4阻害薬、GLP-1受容体作動薬、<math>\alpha</math>グルコシダーゼ阻害薬、その他の糖尿病薬)、膵(島)移植の有無、血糖モニターの種類、CGMあるいはiCGM使用の有無、応用カーボカウント実施の有無、医療費補助など、CGM、iCGMなどによる血糖変動指標</p>
研究機関	<p>日本糖尿病学会がとりまとめを行い、研究を行います。</p> <p>集められたデータは国立国際医療研究センターJCRACデータセンターに保管され、同センター、九州大学、大阪医科薬科大学を中心に解析が行われます。</p>
試料・情報の管理責任者	国立国際医療研究センター JCRACデータセンター長 大柳 一
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
本学の試料・情報提供責任者	広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 診療科長 米田 真康
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>Te l : 082-257-5196</p> <p>広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 助教 小武家 和博</p>

既存試料・情報提供機関: 広島大学